

(5)循環型の地域づくり

- 「長野版エシカル消費」行動等、循環型社会を意識した消費行動や農業用廃プラスチックや農薬、適正処理が困難な物の処理方法の周知等、ゴミの減量と廃棄物の適正処理に取り組めます。
- 従来の3Rに加え、プラスチック製品等の代替素材への転換も含めた4Rを推進するほか、食品ロス削減等、更なるごみ減量とリサイクルの見える化を推進します。
- 市および不法投棄監視連絡員等によるパトロールに加え、常習場所への監視カメラの設置により常時監視体制の充実を図るなど、不法投棄対策を強化します。

(6)環境学習、環境保全活動の推進

- 環境に関する情報を積極的に発信し、環境保全の意識を共有するとともに、環境について学ぶ取組を推進します。
- 環境保全活動の推進に向けた地域や団体、企業の活動を支援します。

(7)地域特性を活かした市土利用

- 北陸新幹線飯山駅周辺に集積する商業や医療、交通等の都市機能維持と充実を図るとともに集落とのネットワークの強化により、**人口減少・少子高齢化に対応し**、市全体の利便性向上と賑わい拡大のための市土利用を図ります。
- 災害や雪に強く、安全・安心で暮らし続けられる市土利用を図ります。
- 里山が有する自然環境や景観について、保全・再生・活用のバランスのとれた市土利用を図ります。
- 農業・林業・商業・工業・環境・観光・健康・教育・居住等、様々な行政分野との連携と融合によって市土の価値を高め、土地活用を誘発することなどにより、空き地や低未利用地等の解消を図ります。
- 市土の70%以上を占める豊富な森林と農地の多面的機能の活用を図るほか、道路、河川と共に多様な主体による市土利用・管理を図ります。